

製品名: TRIP13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19278**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	TRIP13 TRIP13; PCH2; Pachytene checkpoint protein 2 homolog; Human papillomavirus type 16 E1
別名	protein-binding protein; 16E1-BP; HPV16 E1 protein-binding protein; Thyroid hormone receptor interactor 13; Thyroid receptor-interacting protein 13; TR-in
遺伝子 ID	9319.0
SwissProt ID	Q15645
免疫原	抗血清はヒト TRIP13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 383-432

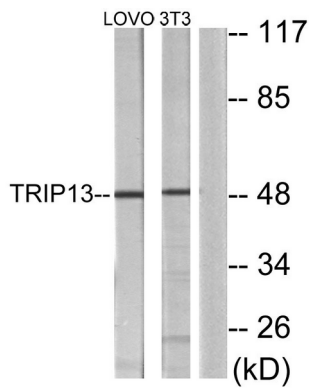
背景

この遺伝子は、甲状腺ホルモン受容体（ホルモン依存性転写因子とも呼ばれる）と相互作用するタンパク質をコードしています。遺伝子産物は、リガンド結合ドメインと特異的に相互作用します。この遺伝子は、早期非小細胞肺癌において役割を果たす可能性がある複数の遺伝子の1つです。[RefSeq 提供、2009年10月],類似性: AAA ATPase ファミリーに属します。サブユニット: 甲状腺受容体 (TR) のリガンド結合ドメインと特異的に相互作用します。この相互作用は、甲状腺ホルモンの存在を必要としません。HPV16 E1 と相互作用します。 ,

研究分野

神経科学; 内分泌系; 甲状腺軸

画像データ



TRIP13 抗体を用いた LOVO 細胞および NIH/3T3 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。